



水風船のような「Ooho!」を作る児童(右)=17日午前、静岡市葵区の静岡北高(写真の一部を加工しています)

“つかめる水”できた!

静岡児童が理科教室楽しむ

静岡理工科大(袋井)40人が「Ooho!」と市は17日、静岡市葵区呼ばれる不思議な「つかめる水」を作り、理科塾「夏のおもしろ理科教室」を開いた。静岡市内の小学1〜3年生約

児童はアルギン酸ナトリウム水溶液をすくったおたまを乳酸カルシウム水溶液の中に沈めて外側に薄い膜を持つ水風船のような「Ooho!」を完成させ、歓声を上げた。

児童はそれぞれが作った「Ooho!」を手に取り、感触を確かめて大はしゃぎ。市立有度第二小1年の太田原怜音くん(6)は「ふわふわの殻が水を包んでいるみたいで面白かった」と話した。「お理科塾」は、同大が理科好きの子どもを増やそうと始めた取り組み。大学

や高校で開く実験教室でもこうしたイベントに加え、地域の公民館を開いているという。